

3)学習指導要領との関連性 (中学校①)

| | |
|--|---|
| <p>中学校学習指導要領 第2章各教科 第9節外国語</p> | <p>ケンブリッジ英検 KET(A2) 中高生対象</p> |
| <p>第1 目標 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。</p> | <p>[Handbook for Teachers: Language specificationsより引用] KETは、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの4つのスキルを測るテストで、合格者はさまざまな日常生活の場面で、相手が英語母語者であってもなくても、基本的なコミュニケーションのニーズを満たすことができます。(able to satisfy the basic communicative needs in a range of everyday situations)</p> |
| <p>第2 各言語の目標及び内容等 英語 2 内容 (1) 言語活動 ア 聞くこと (オ) まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること。</p> | <p>リスニング: 約30分 適度にゆっくりと話している話し言葉やアナウンスメントが理解できる。重要な情報を拾い出し、キーワードを頼りに、それほど重要ではないことは気に留めずコンテキストから意味を推論する聞く力をのばす。</p> |
| <p>イ 話すこと (ア) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音すること。 (イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。 (ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどすること。 (エ) つなぎ言葉を用いる等のいろいろな工夫をして話を続けること。 (オ) 与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること。</p> | <p>スピーキング: ~10分 試験官2名、原則受験者2名のフォーマットで実施される。質問役の試験官は全体評価のみ、もう一人の試験官は① Pronunciation(発音) ② Grammar and Vocabulary(語いと文法) ③ Interactive communication(双方向コミュニケーション)の3つの評価スケールで、試験官と受験者、受験者間でのやりとりが採点される。③では、積極的に会話を発展させようとしているかどうか(Development of the interaction)も評価項目となっている。</p> |

15

学習指導要領との関連性 (中学校②)

| | |
|--|--|
| <p>中学校学習指導要領 第2章各教科 第9節外国語</p> | <p>ケンブリッジ英検 KET(A2) 中高生対象</p> |
| <p>ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 (オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。</p> | <p>リーディング & ライティング: 約70分 Part 4 やや長めの文章について、本題やある程度詳細を理解することができるかどうかを測る。文章は新聞、雑誌、短い物語文等からとられる。</p> |
| <p>エ 書くこと (ウ) 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること。 (オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。</p> | <p>リーディング & ライティング: 約70分 Part 9 メモ、メール、ポストカードのいずれかのフォーマットで、短いメモを読み、それに含まれる3つの手がかりを参考にして25~35語で完成させる。</p> |
| <p>(2) 言語活動の取扱い ア 3学年間を通じ指導に当たっては、次のような点に配慮するものとする。(中略) (ウ) 言語活動を行うに当たり、主として次に示すような言語の使用場面や言語の働きを取り上げるようにすること。 〔言語の使用場面の例〕 省略 〔言語の働きの例〕 a コミュニケーションを円滑にする ・ 呼び掛ける ・ 相づちをうつ ・ 聞き直す ・ 繰り返す など</p> | <p>スピーキングの評価スケールの一つである、“interactive communication”(双方向コミュニケーション)という観点で評価される項目で、いわゆる実践的なコミュニケーション能力の根幹となる部分。さらに「双方向コミュニケーション」は以下の4項目をベースに測定。 ① Development of the interaction(積極的な会話の展開) ② Initiating & Responding(会話のイニシアチブ、相手の発言への反応) ③ Prompting & Supporting(相手の発言を引き出すスキル) ④ Turn and Simple exchange(役割の交代: 質疑応答、提案と同意)</p> |

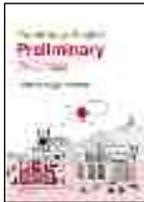
16

学習指導要領との関連性（中学校③）

| 中学校学習指導要領 | ケンブリッジ英検 KET(A2) |
|---|---|
| 第2章各教科 第9節外国語 | 中高生対象 |
| (3) 言語材料 ウ 語, 連語及び慣用表現 (ア) 1,200語程度の語 (イ) in front of, a lot of, get up, look forなどの連語 (ウ) excuse me, I see, I'm sorry, thank you, you're welcome, for exampleなどの慣用表現 | [KET Vocabulary Listより] ・ 語い数: 1,357語 (2012年版) ・ (イ)、(ウ)は「I see」以外すべて網羅されている。  [Research Notes Issue 41/2010年8月号] P.20 ‘A mixed-method approach towards investigating lexical progression in Main Suite Reading test papers’  KETのリーディング・テストには ・ 合計800語 ・ 1テキストあたり最大で250語 ・ 1ペーパーあたり4テキスト ☞ 1,200語の選定をする際、欧州評議会登録の公式の英語プロファイリングプロジェクトである「English Profile」での弊機関の知見を共有することも可能です。 |
| 3 指導計画の作成と内容の取扱い オ 語, 連語及び慣用表現については、 運用度の高いものを用い、活用することを通して定着を図る ようにすること。 | “900語程度から1200語程度に増え、「運用度の高い」「活用する」「定着を図る」などは、上記のように「日常生活の場面について話すのに適切な語彙を使用する」ことを 4技能でのばす ケンブリッジ英検を指導目標とすることによって達成できる内容といえます。” 出所: ケンブリッジ英検 試験官チームリーダー 白井 雅裕先生 同志社女子中学校・高等学校 教諭、同志社大学文学部嘱託講師 |

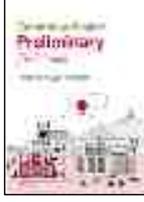
17

学習指導要領との関連性（高校①）

| 高等学校学習指導要領 | ケンブリッジ英検 PET (B1) |
|--|--|
| 第8節外国語 | 中高生対象 |
| 第1款目標 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを 的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。 | [Handbook for Teachers: Language specificationsより引用] PETは、 聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと の4つのスキルを測るテストで、合格者は 日常生活のほとんどの場面で 、相手が英語母語者であってもなくても、 満足のいくコミュニケーション ができます。(able to communicate satisfactorily in most everyday situations) |
| 第2 コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。 ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、 概要や要点をとらえたり する。 イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、 概要や要点をとらえたり する。また、聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、 簡潔に書く。 | PETの受験者は: ・ 複雑でない指示や公共放送を聞いてその 概要や要点を理解できる ・ 英語圏へ旅行した際に遭遇するたいいの状況に対処できる ・ 簡単な質問ができ、家族や友人との会話、あるいは学校で 事実に基づく会話であれば参加できる ・ 手紙やメールを書いたり、良く知っている内容についてノートをとることができる  |
| 第7 英語会話 2 内容 エ 海外での生活に必要な基本的な表現を使って、 会話する。 | Cambridge English: Preliminary for Schools Handbook for Teachers: Who is the exam for? (Page 3) |

18

学習指導要領との関連性 (高校②)

| | |
|--|---|
| <p>高等学校学習指導要領 第8節外国語</p> | <p>ケンブリッジ英検 PET (B1) 中高生対象</p> |
| <p>第7 英語会話 2 内容 (1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。 ア相手の話を聞いて理解するとともに、場面や目的に応じて適切に応答する。 イ関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりする。 ウ聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどを場面や目的に応じて適切に伝える。 エ海外での生活に必要な基本的な表現を使って、会話する。</p> | <p>PETの受験者は： <ul style="list-style-type: none"> 複雑でない指示や公共放送を聞いてその概要や要点を理解できる 英語圏へ旅行した際に遭遇するたいていの状況に対処できる 簡単な質問ができ、家族や友人との会話、あるいは学校で事実に基づく会話であれば参加できる 手紙やメールを書いたり、良く知っている内容についてノートをとることができる </p>  |
| <p>第3款 英語に関する各科目に共通する内容等 [言語の使用場面の例] a 特有の表現がよく使われる場面： <ul style="list-style-type: none"> 買物・旅行・食事 ・電話での応答・手紙や電子メールのやりとりなど b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面： <ul style="list-style-type: none"> 家庭での生活・学校での学習や活動・地域での活動 職場での活動など c 多様な手段を通じて情報などを得る場面： <ul style="list-style-type: none"> 本、新聞、雑誌などを読むこと・テレビや映画などを観ること 情報通信ネットワークを活用し情報を得ることなど </p> | <p>[PETの代表的なトピック] Clothes Personal identification Daily life Places and buildings Education Relations with other people Entertainment and media Services Environment Shopping Food and drink Social interaction Free time Sport Health, medicine and exercise The natural world Transport Hobbies and leisure Travel and holidays House and home Weather Language People Personal feelings, experiences and opinions [Preliminary for Schools Handbook for Teachers] Page 6</p> |

19

学習指導要領との関連性 (高校③)

| | |
|---|--|
| <p>高等学校学習指導要領 第8節外国語</p> | <p>ケンブリッジ英検 PET (B1) 中高生対象</p> |
| <p>[言語の働きの例] a コミュニケーションを円滑にする： <ul style="list-style-type: none"> 相づちを打つ・聞き直す・繰り返す 言い換える・話題を発展させる・話題を変えるなど </p> | <p>スピーキング: 10～12分 試験官2名、原則受験者2名のフォーマットで実施される。質問役の試験官は全体評価のみ、もう一人の試験官は①Pronunciation(発音) ②Grammar and Vocabulary(語いと文法) ③Interactive communication(双方向コミュニケーション)そしてPETでは新たに④Discourse Management(談話マネジメント)が加わり、4つの評価スケールで、試験官と受験者、受験者間でのやりとりが採点される。④では、話す内容に論理的に首尾一貫性が見られるか、(coherence and cohesion)、関連性(relevance)があるか、同じアイデアの繰り返しをするだけで(repetition)、トピックを発展させる新しいアイデアの導入はあるか、などが評価項目になる。</p> |

スピーキングの評価スケールの一つである、“interactive communication”(双方向コミュニケーション)で評価される項目
 Cambridge English: Preliminary for Schools Handbook for Teachers: Paper 3 Speaking (Page 52)

- ①Development of the interaction (積極的な会話の展開)
- ②Initiating & Responding(会話のイニシアチブ、相手の発言への反応)
- ③Prompting & Supporting(相手の発言を引き出すスキル)
- ④Turn and Simple exchange(役割の交代: 質疑応答、提案と同意)

“コミュニケーションを円滑にする言語の働きは、相手との関係を築きながらコミュニケーションを開始し維持する働きであり、中学校においても扱われています。高等学校においては、さらに、「言い換える」、「話題を発展させる」、「話題を変える」が例として挙げられています。(高等学校で)適切な表現を選択し、意見の交換などをより円滑に進める工夫を行えるよう「指導する」ことで中学校からの発展的な移行が目指されていることから、ここでもケンブリッジ英検を指導目標だけでなく評価基準として活用することで教育効果を上げることが期待できると思います。”

出所:ケンブリッジ英検 試験官チームリーダー 白井 雅裕先生
 同志社女子中学校・高等学校 教諭、同志社大学文学部嘱託講師)

20

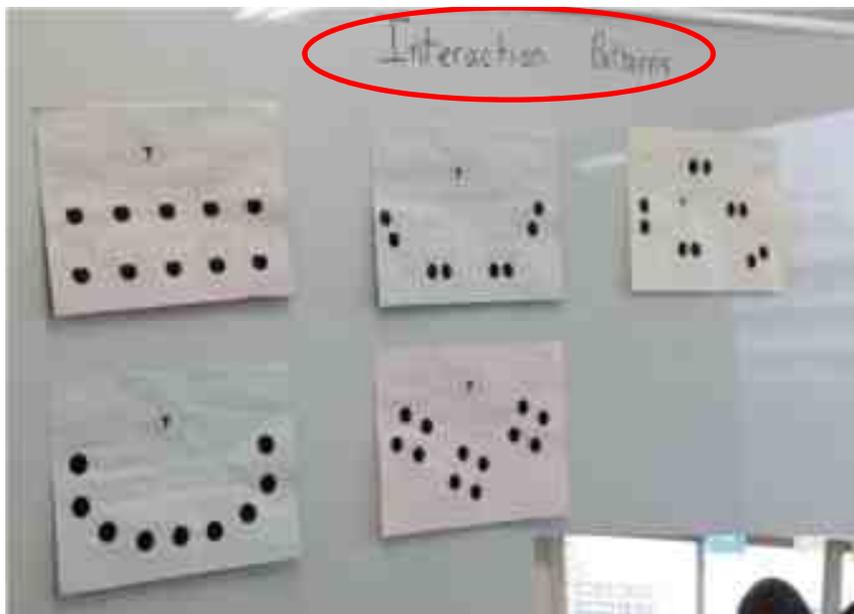
学習指導要領との関連性 (高校④)

| | |
|---|--|
| <p>高等学校学習指導要領</p> <p>第8節外国語</p> <p>2 英語に関する各科目の2の(1)に示す言語活動を行うに当たっては、中学校学習指導要領第2章第9節第2の2の(3)及び次に示す言語材料の中から、それぞれの科目の目標を達成するためにふさわしいものを適宜用いて行わせる。その際、「コミュニケーション英語Ⅰ」においては、言語活動と効果的に関連付けながら、ウに掲げるすべての事項を適切に取り扱うものとする。</p> <p>ア語、連語及び慣用表現</p> <p>(ア) 語</p> <p>a「コミュニケーション英語Ⅰ」にあつては、中学校で学習した語に400語程度の新語を加えた語</p> <p>b「コミュニケーション英語Ⅱ」にあつては、aに示す語に700語程度の新語を加えた語</p> <p>c「コミュニケーション英語Ⅲ」にあつては、bに示す語に700語程度の新語を加えた語</p> <p>d「コミュニケーション英語基礎」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」及び「英語会話」にあつては、生徒の学習負担を踏まえた適切な語</p> <p>(イ) 連語及び慣用表現のうち、運用度の高いもの</p> | <p>ケンブリッジ英検 PET (B1)</p> <p>中高生対象</p> <p>[PET Vocabulary Listより]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 語い数:2,822語 (2012年版) (既出も含む) <p>[Research Notes Issue 41/2010年8月号] P.20 'A mixed-method approach towards investigating lexical progression in Main Suite Reading test papers'</p>  <p>PETのリーディング・テストには</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 合計1,600語 ・ 1テキストあたり最大で550語 ・ 1ペーパーあたり5テキスト <p>【ご参考】その他のレベルのリーディング・テストについて</p> <p>First (B2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 合計2,000語 ・ 1テキストあたり最大で700語 ・ 1ペーパーあたり3テキスト <p>CAE (C1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 合計3,000語 ・ 1テキストあたり最大で1,100語 ・ 1ペーパーあたり6テキスト <p>CPE (C2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 合計3,000語 ・ 1テキストあたり最大で1,100語 ・ 1ペーパーあたり9テキスト (現在は上限3,400語) |
|---|--|

21

4) 中学・高校・大学等との連携による 取組事例・概要

| 相山女学園大学教育学部 「幼児・児童英語教師養成プログラム」 | |
|--|---|
| コース内容 | 毎日40分 週5回(月～金曜日)、通年実施、100回レッスン3単位 |
| コース評価にケンブリッジ英検を活用 | キー(KET)およびプレリミナリー(PET)を1～2年次必修で受験。 |
| 英語運用能力テスト(KET & PET) ↓ 英語教授法に関するテスト(TKT) | 幼児・小学校英語指導者を目指す学生は、引き続き選択でTKT(英語教授知識認定テスト)を3年次に受験。(3年次選択) |

**【ご参考】**

梶山女学園大学教育学部 TKT
(英語教授知識認定テスト)を
ベースにした演習授業風景より

‘Interaction Pattern (学習者が一
緒に取り組むさまざまな方法)’が
テーマ



23



その他の事例①



5月と11月にKET受験

- ネイティブの先生から長崎純心大学英語情報学科34名の生徒の英語力評価に「ケンブリッジ英検を活用したい」との声があがり、現在に至る。理由は「素の英語力」が測れるから



11月にKET/PET for Schoolsを受験

学校法人 原田学園 **鹿児島情報高等学校**

- e-プレップ科 1年生22名全員受験
- 4月から3カ月間のニュージーランド留学するにあたり、ニュージーランドの高校側に生徒の英語のレベルが分かる資格を提示するため活用。

24



その他の事例 ②

かえつ有明中・高等学校

KAETSU ARIAKE JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

11月にPET for Schoolsを受験

- ケンブリッジ英語研修を毎年3月に実施。ネイティブの先生がイギリス出身。
- 中1から英語を学び始めた生徒の目標は「アドバンスト」クラスに入れるよう頑張ること。入ったらPETを受験するよう奨励。
- ご担当の先生のお話：
“「アドバンスト」に入った生徒の頑張りを称えるには、スコアで結果が示される試験ではなく、「認定証（サーティフィケート）」が発行されるケンブリッジ英検の方が相応しいと考えました”

25



5) 今後の取組み等

資料5: ケンブリッジ英検認定試験センターおよび2015年試験日程(グローバル)

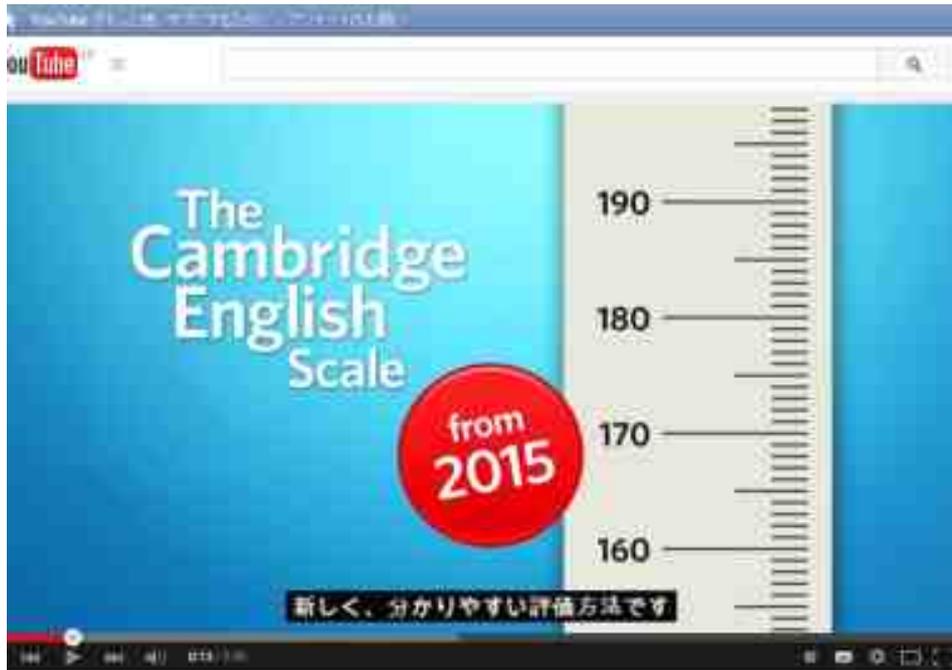
- 現在、日本にあるオープン・試験センターは6
- 今後会場数を拡大する予定あり
- 学校を会場として団体受験する場合は団体割引が可能



26



評価がより分かりやすく → ケンブリッジ英検スケールの導入



<http://youtu.be/jFqfgA4mx9U?list=UUnXqRankqlC47qzXcYMazKA>

27



CB版テストについて

- コンピューター版テストとペーパー版テスト両方あり
- スピーキングテストはCB版も対面式テストであるため、あまり費用面で差は生じない。
- 日本ではCB版を扱う試験センターがない現状
- 国際児童英検が対面式によらない(録音された)音声を試験官が採点するシステムのCB版を昨年リリースした実績があるため、今後の展開が待たれるところ。

28



学生の潜在的な能力を測るテスト

Thinking Skills Assessment (TSA): 思考力測定テスト
問題解決能力 (problem-solving) と批判的思考力 (critical thinking) を測るテストとしてケンブリッジ大学が2001年にスタート。

- 現在は医療系学部を志望する優秀な学生の選抜試験に活用
- TSAと理数の基礎知識を組み合わせた試験
- 英国のみならず海外で大学入試の一部として採用

採用している大学



29



TSAのサンプル問題(日本語訳)

例題1)

どれだけ道路を使うかに関係なく、ドライバーひとりひとりが同額の道路税を支払っている。1,000マイルしか運転しない人も、20,000マイル運転する人も同額負担である。これは不公平である。道路税を廃止し、ガソリン税(自動車燃料税)の引上げによって財源確保すべきである。こうすれば、道路を使う人がより多く税金を負担することを確実にできる。公正なシステムになるばかりではなく、より多くの財源確保にもつながる措置である。

この議論の根底にある原理を正しく説明しているのは次のどれか。

- A. 貧しくて支払えない場合は医療費を無償にすべきである。
- B. 毎日電車通勤をしている人は、時々電車通勤をする人よりも安い運賃を支払うようにすべきである。
- C. 平均賃金の倍のお金を稼いでいる人は、歯の治療費を高額に設定すべきである。
- D. テレビのチャンネルについては視聴契約している人が支払うべき。テレビを見ている人だけ受信料を支払えばよい。
- E. 電話代は、一般家庭よりも法人の顧客に対してより高めの料金を設定すべきである。理由は法人顧客は金もうけのためにシステムを利用しているからである。

www.admissionstesting.org/images/24890-tsa-cambridge-specimen-test.pdf

連絡協議会用 試験概要説明

公益財団法人 日本英語検定協会

2014年12月02日



1

英検協会テストの概要一覧

| | 一般的 英語力 | | アカデミック系 英語力 | | ビジネス系 英語力 |
|-----------------------------|------------------|--------------|------------------|------------------|------------------|
| | 英検 | センター 試験 | IELTS | TEAP | BULATS |
| CEFR レベル | C2 | C1 | B2 | B1 | A2 |
| CSE スコア | 3300-4000 | 2800-3299 | 2500-2799 | 2300-2499 | 2100-2299 |
| | A1 | 0-2099 | | | |
| 対象となる 技能 | 4技能 (R L S W) | 2技能 (R L) | 4技能 (R L S W) | 4技能 (R L S W) | 4技能 (R L S W) |
| 日本の英語教育 (学習指導要領) への配慮 | ○ | ○ | — | ○ | — |
| 主たる 受験者層 | 全年齢層 | 高校3年生 | 主に高校生 以上 | 高校2年生 以上 | 大学生 以上 |

2

英検・TEAP・IELTSから広がる世界

成果測定から入試・海外留学へ



3

© Eiken Foundation of Japan, All rights reserved

ご説明の流れ

- ① 目的・内容・出題意図の概要
- ② 出題レベル(CEFRとの参照含む)
- ③ 学習指導要領(および「思考力・判断力・表現力」との対応関係)
- ④ 中学・高等学校・大学・自治体等との連携による取組事例・概要
- ⑤ 今後の取り組み等

4

© Eiken Foundation of Japan, All rights reserved

世界レベルの英語力を



実用英語技能検定試験(英検)

5

© Eiken Foundation of Japan, All rights reserved

英検

① 目的・内容・出題意図の概要-1

英検 公益財団法人 日本英検定協会

| 級 | 審査基準 |
|-----|--------------------------------------|
| 1級 | 広く社会生活で求められる英語を十分理解し、また使用することができる。 |
| 準1級 | 社会生活で求められる英語を十分理解し、また使用することができる。 |
| 2級 | 社会生活に必要な英語を理解し、また使うことができる。 |
| 準2級 | 日常生活に必要な英語を理解し、また使うことができる。 |
| 3級 | 身近な英語を理解し、また使うことができる。 |
| 4級 | 簡単な英語を理解することができ、またそれを使って表現することができる。 |
| 5級 | 初歩的な英語を理解することができ、またそれを使って表現することができる。 |

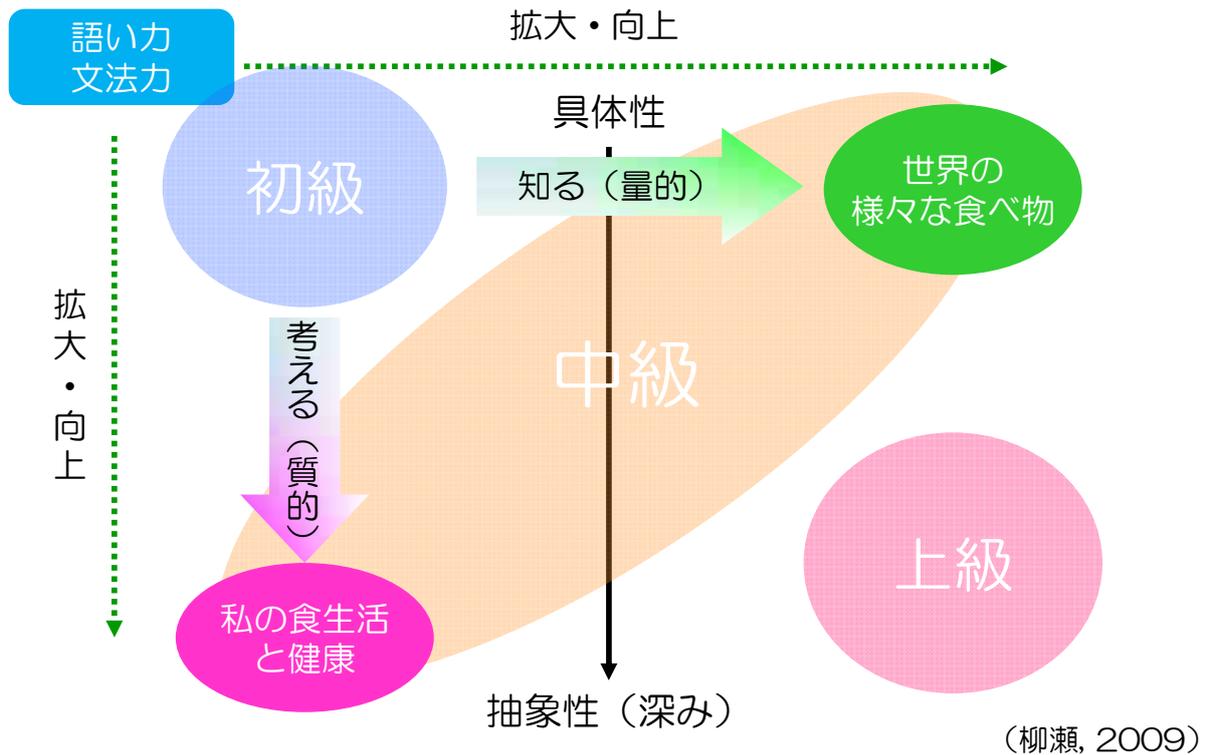
日本の英語学習者の各学習
ステージに適したコンテキストと
タスク・難易度設計。

| | 準1級 | 2級 | 準2級 | 3級 |
|------------------------|---|--|--|--|
| 目標言語使用領域 TLU Domain | 自立型の言語使用・学習環境において 遭遇する可能性のある 社会性の高く幅広い内容(日常・アカデミック・ビジネス) に関する言語使用場面 | 指導者を伴う言語使用・学習環境において 遭遇する可能性の高い 社会性のある内容(日常・アカデミック・ビジネス) に関する言語使用場面 | 指導者を伴う言語使用・学習環境において 遭遇する可能性の高い 社会性のある内容(日常・アカデミック・ビジネス) に関する言語使用場面 | 指導者を伴う言語使用・学習環境において 遭遇する可能性の高い 日常生活の身近な話題 に関する言語使用場面 |
| 出題意図 | 社会生活(日常・アカデミック・ビジネス)で求められる英語を十分理解し、また使用することができるかを評価するテスト | 社会生活(日常・アカデミック・ビジネス)に必要な英語を理解し、また使うことができるかを評価するテスト | 日常生活(日常・アカデミック・ビジネス)に必要な英語を理解し、また使うことができるかを評価するテスト | 日常生活に必要な英語を理解し、また使うことができるかを評価するテスト |

6

© Eiken Foundation of Japan, All rights reserved

語いと文法の発達に応じたトピック設計



(柳瀬, 2009)

日常会話

日常会話・アカデミック・ビジネスコンテキストの割合を意識した問題作成。

A: Sorry to leave your birthday party early, Tracy.

B: Do you have to go so soon? At least () until I open your present.

1. pass down 2. strike back 3. make up 4. stick around

アカデミック

Students are not allowed to bring cell phones onto school grounds. This rule is difficult to (), however, because teachers cannot search the students or their lockers.

1. pluck 2. enforce 3. recollect 4. remodel

ビジネス

A: How are you enjoying your new job, Roger?

B: The work itself is a bit boring, but it's (). I like my colleagues, and the salary is reasonable.

1. ashamed 2. stealthy 3. dissimilar 4. tolerable

| 級 | 一次試験タスク | | | 二次試験タスク |
|-----|---|---|-----------------|---|
| | 読む | 聞く | 書く | 話す |
| 1級 | ・短文語句空所補充 ・長文語句空所補充 ・長文内容一致選択 | ・会話内容一致選択 ・英文内容一致選択 ・Real-life放送内容一致選択 ・インタビュー内容一致選択 | ・指定トピックに関する文章作成 | ・簡単な日常会話 ・幅広い社会性のあるトピックに関するスピーチ ・スピーチ内容に関する質疑応答 |
| 準1級 | ・短文語句空所補充 ・長文語句空所補充 ・長文内容一致選択 | ・会話内容一致選択 ・英文内容一致選択 ・Real-life放送内容一致選択 | ・Eメール等返信文作成 | ・簡単な日常会話 ・イラストの描写説明 ・イラストに関する質疑応答 ・幅広い社会性のあるトピックに関する質疑応答 |
| 2級 | ・短文語句空所補充 ・長文語句空所補充 ・長文内容一致選択 | ・会話内容一致選択 ・英文内容一致選択 | ・短文中の語句整序 | ・パッセージの音読 ・パッセージに関する質疑応答 ・イラストに関する質疑応答 ・社会性のあるトピックに関する質疑応答 |
| 準2級 | ・短文語句空所補充 ・会話文空所補充 ・長文語句空所補充 ・長文内容一致選択 | ・会話応答文選択 ・会話内容一致選択 ・英文内容一致選択 | ・短文中の語句整序 | ・パッセージの音読 ・パッセージに関する質疑応答 ・イラストに関する質疑応答 ・身近なトピックに関する質疑応答 |
| 3級 | ・短文語句空所補充 ・会話文空所補充 ・長文内容一致選択 | ・会話応答文選択 ・会話内容一致選択 ・英文内容一致選択 | ・短文中の語句整序 | ・パッセージの音読 ・パッセージに関する質疑応答 ・イラストに関する質疑応答 ・身近なトピックに関する質疑応答 |
| 4級 | ・短文語句空所補充 ・会話文空所補充 ・長文内容一致選択 | ・会話応答文選択 ・会話内容一致選択 ・英文内容一致選択 | ・短文中の語句整序 | |
| 5級 | ・短文語句空所補充 ・会話文空所補充 | ・会話応答文選択 ・会話内容一致選択 ・イラスト内容一致選択 | ・短文中の語句整序 | |

面接委員との
リアルタイム双方向対話

面接委員とのリアルタイム双方向対話により、
話者を意識したコミュニケーション力の測定が可能。



問題例

Q: Do you have any plans for the summer?

Q: Should the government encourage people to have more children?

CEFR-英検 関連性調査について

英検のCEFRとの対応づけ手順

| | | |
|---------------------------------|------|---|
| ステップ1 Familiarization | 2007 | ・ヨーロッパの専門学会、研修会に参加し、研究計画、分析方法について有識者からのアドバイスを頂いた ・欧州評議会が提供する資料を英検の調査用に調整した |
| | | ・英検の内容検討、英検Can-doリストとの比較、英検資格の使用法(海外認定、文部科学省の目標設定など)を考慮した |
| ステップ3 Standardization | 2007 | ・Standard-setting study 1 ・1級・準1級の一次試験 ・複数の分割点設定方法を使用するワークショップ形式 |
| | 2010 | ・Standard-setting study 2 ・3級、準2級、2級の一次試験 ・Standard-setting study 3 ・3級～1級の二次試験 ・複数の分割点設定方法を使用するワークショップ形式 |
| ステップ4 Validation | 2010 | ・Study 4 ヨーロッパでの共同研究 ・CEFRの公式研究マニュアルの著者との共同研究 ・準1級の読解、語彙問題を対象にした ・スペインの語学学校で、英検準1級のCEFRレベルを検証した |

英検のCEFRとの対応づけ手順にもとづき算出された英検各級の合否ラインに対応するCEFRバンドの対応表

| 学習者層 | CEFR | 級 |
|------------|------|-----|
| 熟練した言語使用者 | C1 | 1級 |
| 自立した言語使用者 | B2 | 準1級 |
| | B1 | 2級 |
| 基礎段階の言語使用者 | A2 | 準2級 |
| | A1 | 3級 |
| | | 4級 |
| | | 5級 |